

# きべりはむし

## 第10巻 第2号

### 目 次

|                               |           |    |
|-------------------------------|-----------|----|
| 神戸市周辺の蜻蛉目                     | 松本 健嗣     | 1  |
| 宝塚大橋の照明燈で採集した蛾(続報その1)         | 新家 勝      | 10 |
| 三田市周辺に於けるミスジチョウの分布            | 広畑政己・近藤伸一 | 16 |
| 兵庫県のジョウカイモドキ                  | 高橋 寿郎     | 18 |
| 宝塚市内におけるナガサキアゲハ春型の採集報告        | 新家 勝      | 22 |
| 宝塚市清荒神のチョウ(追録2)               | 加藤信一郎     | 23 |
| カバフキシタバを西宮市角石町で採集             | 芦田 久・佐藤 学 | 24 |
| 宝塚市と西宮市の隣接地における<br>ヤンマ類の目撃例二つ | 新家 勝      | 24 |
| 摩耶山におけるヒメコブヤハズカミキリの採集例        | 芦田 久      | 25 |
| ヒゴヒラタエンマムシ神戸市内に産す             | 高橋 寿郎     | 26 |
| カツラネクイハムシ神戸市北区芦谷溪谷に産す         | 高橋 寿郎     | 27 |
| キイロヒメテントウ神戸市内に産す              | 高橋 寿郎     | 28 |
| 兵庫県産ツノカメムシ類の産地追加              | 高橋 寿郎     | 29 |
| 県関係文献紹介                       |           | 30 |
| 会員異動                          |           | 30 |

兵 庫 昆 虫 同 好 会

1982年11月

# 神戸市周辺の蜻蛉目

松 本 健 嗣

神戸に住む筆者が思い立って地形図を頼りに水生昆虫を求めて市内周辺各処を歩き廻っていたのは1960年代のことである。穏やかな水辺が多く失れた今、当時を振り返り、特に懐しい蜻蛉目について述べてみたい。以下の地名は大概幼虫、羽化殻、産卵のいずれかを採集目撃した場所である。( )は現在、地形環境が当時と大きく変わっていることを示す。

## アオイトトンボ科 LESTIDAE

1. コバネアオイトトンボ *Lestes japonicus* Selys  
(西区押部谷町栄), 神出町金棒池。
2. オオアオイトトンボ *Lestes temporalis* Selys  
北区山田町山ノ街 他。
3. アオイトトンボ *Lestes sponsa* Hansemann  
須磨区妙法寺池ノ尻 他。
4. オツネイトンボ *Sympecna paedisca* Brauer  
長田区一里山町(成虫1970-X-26)。
5. ホソミオツネイトンボ *Indolestes peregrinus* Ris  
一里山町 他。

## モノサシトンボ科 PLATYCNEMIDIDAE

6. グンバイトンボ *Platycnemis foliacea sasakii* Asahina  
垂水区舞子墓地公園 (西区押部谷駅北), 三木市花尻。
7. モノサシトンボ *Copera annulata* Selys  
北区山ノ街 他。

## イトトンボ科 COENAGRIONIDAE

8. キイトンボ *Ceriagrion melanurum* Selys  
北区山ノ街 他。
9. ベニイトンボ *Ceriagrion nipponicum* Asahina  
西区伊川谷町小寺橋, 榎谷町谷口南谷大池, 明石公園。
10. モートンイトンボ *Mortonagrion selenion* Ris  
山ノ街 他。
11. アオモンイトンボ *Ischnura senegalensis* Rambur  
伊川谷町小寺橋。

12. アジアイトトンボ *Ischnura asiatica* Brauer

明石市藤江海岸 他。

13. ホソミイトトンボ *Aciagrion hisopa* Selys

山ノ街 他。

14. セスジイトトンボ *Cercion hieroglyphicum* Brauer

山ノ街 他。

15. オオイトトンボ *Cercion sieboldii* Selys

(山田町小河シブレ山東麓), 山ノ街, 明石公園。

16. ムスジイトトンボ *Cercion sexlineatum* Selys

宝塚市ファミリーランド。

17. クロイトトンボ *Cercion calamorum* Ris

山ノ街 他。

カワトンボ科 CALOPTERYGIDAE

18. ミヤマカワトンボ *Calopteryx cornelia* Selys

有馬温泉 他。

19. アオハダトンボ *Calopteryx virgo japonica* Selys

北区道場駅附近(成虫)。

20. ハグロトンボ *Calopteryx atrata* Selys

西区榎谷町菅野榎谷川 他。

21. ナワカワトンボ *Mnais nawai* Yamamoto

北区山田町原野山田川 他。

22. カワトンボ *Mnais pruinosa* Selys

北区有馬町紅葉谷 他。

ムカシヤンマ科 PETALURIDAE

23. ムカシヤンマ *Tanyhteryx hryeri* Selys

宝塚市武田尾(成虫1968-V-26)。

サナエトンボ科 GOMPHIDAE

24. ヤマサナエ *Gomphus melaenops* Selys

山田町藍那 他。

25. キイロサナエ *Gomphus pryeri* Selys

北区道場町塩田, 山田町上衙原, 淡河町萩原, 三木市安福田(いずれも成虫)。

26. ホンサナエ *Gomphus postocularis* Selys

道場町塩田武庫川。

27. フタスジサナエ *Trigomphus interruptus* Selys  
中央区再度山狸々池 他。
28. オグマサナエ *Trigomphus ogumai* Asahina  
三木市志染町窟屋 他。
29. タベサナエ *Trigomphus citimus tabei* Asahina  
三木市志染町窟屋。
30. ダビドサナエ *Davidius nanus* Selys  
有馬温泉 他。
31. オジロサナエ *Stylogomphus suzukii* Oguma  
北区有野町地獄谷 他。
32. アオサナエ *Nipponogomphus viridis* Oguma  
北区道場町塩田有馬川, 山田町谷上駅(成虫1965-V-24)。
33. オナガサナエ *Onychogomphus viridicostus* Oguma  
三木市雌岡山(成虫)。
34. コオニヤンマ *Sieboldius albardae* Selys  
山田町原野柏尾谷 他。
35. ウチワヤンマ *Ictinogomphus clavatus* Fabricius  
明石公園 他。

オニヤンマ科 CORDULEGASTERIDAE

36. オニヤンマ *Anotogaster sieboldii* Selys  
長田区一里山町 他。

ヤンマ科 AESCHNIDAE

37. サラサヤンマ *Jagoria pryeri* Martin  
北区山田町金剛童子山, (シブレ山東麓), (西区押部谷駅北), 三木市志染町窟屋  
淡河町大杉。
38. ミルンヤンマ *Planaeschna milnei* Selys  
山田町原野柏尾谷 他。
39. コシボソヤンマ *Boyeria maclachlani* Selys  
北区山田町原野, 西区太山寺境内伊川, 榎谷町寺谷寺谷川。
40. ネアカヨシヤンマ *Aeschnophlebia anisoptera* Selys  
妙法寺町池ノ尻, (垂水区名谷町奥畑)。
41. アオヤンマ *Aeschnophlebia longistigma* Selys  
(西区押部谷町栄), 神出町田井, 明石公園。

42. カトリヤンマ *Gynacantha japonica* Bartenev  
山田町柏尾谷 他。
43. ヤブヤンマ *Polycanthagyna melanictera* Selys  
須磨区多井畑厄神 他。
44. オオルリボシヤンマ *Aeshna nigroflava* Martin  
六甲山高山植物園 他。
45. マルタンヤンマ *Anaciaeschna martini* Selys  
須磨区多井畑岡ノ辻, (垂水区潮見台), 明石公園。
46. クロスジギンヤンマ *Anax nigrofasciatus* Oguma  
山ノ街 他。
47. ギンヤンマ *Anax parthenope julius* Brauer  
山ノ街 他。
- ヤマトンボ科 **MACROMIIDAE**
48. オオヤマトンボ *Epophthalmia elegans* Brauer  
伊川谷町前開坪池 他。
49. コヤマトンボ *Macromia amphigena* Selys  
山田町坂本山田川 他。
50. キイロヤマトンボ *Macromia daimoji* Okumura  
道場町千苅 (成虫 1959-V-25)。
- エゾトンボ科 **CORDULIIDAE**
51. トラフトンボ *Epitheca marginata* Selys  
山ノ街 他。
52. タカネトンボ *Somatochlora uchidai* Foerster  
六甲山町ガルベン池附近 他。
53. オオエゾトンボ *Somatochlora viridiaenea atrovirens* Selys  
六甲山町三国池附近, 山田町金剛童子山, 西区押部谷町栄シブレ山西麓。
54. ハネビロエゾトンボ *Somatochlora clavata* Oguma  
長田区一里山町, 北区淡河町大杉, (垂水区名谷町奥畑)。
- トンボ科 **LIBELLULIDAE**
55. ハラビロトンボ *Lyriothemis pacygastra* Selys  
須磨区多井畑岡ノ辻 他。

56. シオヤトンボ *Orthetrum japonicum japonicum* Uhler  
東灘区住吉台 他。
57. シオカラトンボ *Orthetrum albistylum speciosum* Uhler  
山ノ街 他。
58. オオシオカラトンボ *Orthetrum triangulare melania* Selys  
長田区堀切町 他。
59. ヨツボシトンボ *Libellula quadrimaculata asahina* Schmidt  
山田町小河 他。
60. ハッチョウトンボ *Nanophya pygmaea* Rambur  
山田町金剛童子山 他。
61. ショウジョウトンボ *Crocothemis servilia* Drury  
垂水区塩屋台 他。
62. コフキトンボ *Deielia phaon* Selys  
垂水区塩屋台 他。
63. タイリクアカネ *Sympetrum striolatum imitoides* Bartenef  
伊川谷町別府福寿池, 加古郡稲美町琴池, 明石市大久保町。
64. ミヤマアカネ *Sympetrum pedomontanum elatum* Selys  
北区有野町下唐櫃 他。
65. アキアカネ *Sympetrum frequens* Selys  
妙法寺町池ノ尻 他。
66. ナツアカネ *Sympetrum darwinianum* Selys  
山ノ街 他。
67. リスアカネ *Sympetrum risi* Bartenef  
山ノ街 他。
68. ノシメトンボ *Sympetrum infuscatum* Selys  
西区神出町金棒池 他。
69. コノシメトンボ *Sympetrum baccha matutinum* Ris  
檀谷町谷口南谷大池 他。
70. マユタテアカネ *Sympetrum eroticum eroticum* Selys  
山ノ街 他。
71. マイコアカネ *Sympetrum kunckeli* Selys  
山ノ街 他。

72. ヒメアカネ *Sympetrum pervulum* Bartenev  
北区淡河町志久峠 他。
73. マダラナニワトンボ *Sympetrum maculatum* Oguma  
西区榎谷町栃木, 同長谷, 同谷口南谷大池, 伊川谷町別府福寿池 他。
74. ナニワトンボ *Sympetrum gracile* Oguma  
榎谷町谷口南谷大池 他。
75. ネキトンボ *Sympetrum speciosum speciosum* Oguma  
山田町金剛童子山, 山ノ街, 妙法寺町池ノ尻。
76. キトンボ *Sympetrum croceolum* Selys  
西区神出町金棒池 他。
77. オオキトンボ *Sympetrum uniforme* Selys  
伊川谷町別府福寿池 他。
78. コシアキトンボ *Pseudothemis zonata* Burmeister  
明石公園 他。
79. チョウトンボ *Rhyothemis fuliginosa* Selys  
妙法寺町池ノ尻 他。
80. ハネビロトンボ *Tramea virginia* Rambur  
定着せず。
81. ウスバキトンボ *Pantala flvescens* Fabricius  
定着せず。

## 解 説

ギンヤの姿さえ少なくなった今日, 以下は懐旧談に過ぎないかもしれないが, 神戸での稀少種, 即ち分布圏内に制限されるもの又は人工的な水域に適応し難いものを地形上から三つのカテゴリーに分けてみると, まづ第一に主として基盤山地上に見られる種では, 赤褐色の泥土層を形成する酸性湿地帯, これが多くの六甲山の特色であるが, ヒメアカネがその代表種である。それからハッチョウトンボ, サラサヤンマ, オオエゾトンボ, ハネビロエゾトンボと云った種が泥の中又は周りの水域にすんでいる。ネアカヨシヤンマも今ではこのような湿地に残っている。第二に全然露岩のない平地丘陵のものとしてはコバネアオイトトンボ, ベニイトトンボ, ムスジイトトンボ, アオヤンマ, マダラナニワトンボ。いずれもデリケートで滅び易い種である。第三には河川系にすむ種であるが, まづ道場町武庫川のホンサナエ, 他六甲山系水源の河川では特に論ずる程のフォーナは形成していないと言てよい。

今少し詳しく述べるとコバネアオイトトンボ、これは洪積台地の遠浅の池に産し、特定の水生草本（当地で私が知る限りではカヅリグサ科カンガレイ）の茎にのみ卵を産付する珍しい種である。風の強い日には水面下底迄降りて産む。グンバイトンボは中国山地水源の河川の上中流域に産地が多いが、当地の棲息地は往年の武蔵野台地と同様推積層湧水地のものとして注目される。しかしこゝも武蔵野と同じく過去のものとなりつゝある。ベニイトンボは明石市東部から西区櫛谷町伊川谷町方面に広がる明石層群と称される準平原状洪積丘陵周辺にのみ棲息している。池では同属のキイトンボと共棲しているが好んでヒツジグサの葉裏に産卵するところから本種はやゝ深い水域にすむらしい。以前は現在の神戸市街地の丘陵下の池（例えば西代蓮池）、更には伊丹市周辺の池にもいたと推定されるが、現在兵庫県では此の方面が本種の唯一の棲息域らしい。

オツネイトンボは近畿では少い種で、成虫期が長いので彷徨性が大きく採集例は偶発的である。ムスジイトンボとカワトンボ科アオハダトンボは筆者不幸にして当地では調査不十分である。前者は沖積地河川沿いの池沼のものであるが棲息地は今では殆んど消滅したと考えられる。後者はグンバイトンボと同じく中国山地水源の河川の上中流域に棲息地が多い。有馬川有野川等武庫川に注ぐ川での産否を確かめるべきであったと思っている。

嘗て六甲山にムカシトンボがいたことは戸沢信義氏の記録（鷲林寺及び御影附近、1930）によって知られる。千メートル級の山ならばいてむしろ当然だが戦後の六甲山の姿からはこの記録は意外に感じられる。即ち谷川の川床には白砂が積り、そうでない処でも母虫が卵を産むワサビ、フキ、オタカラコウと云った葉柄の長い草本が流れの側には殆んど見られずこの成長の遅い気むづかしい種がすむに相応しい雰囲気は何処にもない。花崗岩の急峻な地形では天然林の伐採により表土が谷間に溢れ環境が一変するのだろう。採集記録が1938年の所謂阪神大水害以前であることに注目したい。ムカシヤンマは国内分布、棲息環境においてムカシトンボ以上に不可解な種である。以前武田尾附近には割合いたらしいが、六甲山からの採品として私が見たものでは1966年7月11日芦屋市高座ノ滝での藤田吉彦氏（筆者同氏とは面識なし）採集のものが唯一である。裏六甲帝釈山系には一見いてよい環境があるのだが未だ見ることができない。

サナエトンボ科のトンボは低山の小池から羽化するフタスジサナエも平野の広大な池沼に多いウチワヤンマも清流にすむダビドサナエなどと同様皆河川のトンボとみることができる。因にウチワヤンマの卵は明らかに流れに抗する構造になっている。流路複雑で長大な河川系には幾多の種がすんでいる。前述の道場町のホンサナエは1965年頃には沢山いたが武庫川の汚れがひどい現在どうなっているだろうか、近畿では琵琶湖淀川水系以外では数少い産地でもある。海に近く急峻な六甲山系水源の河川のサナエトンボ類は前述のごとく貧弱であるが、その中ではアオサナエ、これは全国的には今でも決して珍しい種ではないが、鮮緑色のスマートな種で、六甲山系のサナエトンボとしては特筆に値する。



しかし、これも川の汚れのひどい現在既に絶えたかもしれない。キイロサナエの幼虫は当地では未だ得たことはないが、帝釈山系の周囲でよく成虫が捕獲されるところから岩の多い谷川の水源近くの砂泥上で産卵孵化、下へ移動し、麓を流れる川で成育羽化するらしい。

タバサナエは精査すればまだ各地にいると思われるが、以前台地丘陵の湿地内の水溜りやごく緩やかな小流中で成育していた。近似種フタスジサナエも元来こう言う環境のものであるがこれは基盤山地上にも棲息し谷をせきとめて造った小池で今も盛んに繁殖している。同じく普通種ウチワヤンマは元来低地に多いが、最近低山上の広く浅い池へ進出している。しかし彷徨性（移動性）が大きく常住しないように見える。次にヤンマ科ではまずサラサヤンマ。低山、台地の谷間の泥土層にすむ原始的な種で曾て水田の拡大により大いに打撃を被ったと思われ、更に現在では土地開発により棲息地は残り少なくなった。六甲山麓東部の住吉、芦屋奥池方面にもいた形跡が見られる。母虫は泥土上の枯枝、ハンノキの根等に卵を産む。一世代完了年数は私は知らない。低山丘陵の樹林内の流れにすむコンボソヤンマも上流域の開発によって激減した種である。流水のヤンマとしてはミルンヤンマが山地上密林中の谷川にすむのと較べて今後の生存には不利である。前者は土石上のコケに、後者は枯枝の組織内に卵を産む。アオヤンマは土壌肥沃な低地のガマが密生する泥沼のヤンマであり、場所は既して人家の近くである。以前は城郭の濠で繁殖し都会の昆虫であったが今では環境が悪化し、沼も埋られ全国的にも珍奇な存在となってしまった。現在神戸市内で私が知る限りでは唯一の棲息地神出町田井のそれは洪積台地上山田疏水によって潤されている沼で、こゝへは近年進出して来たらしい。当地では基盤山地上には本種がすむに適した沼は見当らない。成虫は昼間池上低く草間を徘徊し交尾もそこで行うが矢張り本種の場合も近くに高木が密に繁茂した森の存在が必要である。一世代は二年以上。同属のネアカヨシヤンマはアオヤンマが低地に多いのに対し、低山丘陵のもので土壌瘠悪な灌木疎林地帯にも棲息する。幼虫は湿地内の浅い水溜り、細流にすむ。本種も水に馴れ切らない原始的な面を残しており飼育の際には羽化に先立つ3ヶ月前、3月には背部が水面上に出る低度の浅瀬を作らないと“溺死”する。卵はセリ等の茎に上述のヤンマ類と同じく水上部に産み付けられる。産卵期以外水辺に現われることは少いが成虫はヤマトンボ科、エゾトンボ科のように上空を巡回飛翔する習性があり、すぐにそれと判る。新鮮な個体は日本産蜻蛉目切っの豪華版であり、特にメスは美しい。マルタンヤンマは夕刻上空高く飛び成虫の姿を間近に見る機会は非常に稀である。棲処はアオヤンマとは同じであるが休耕田の片隅の矢張りガマが生じた水溜りでも幼虫が見つかる。本種は1年で成虫になるのでより機動性に富んでいるのだろう。これも低地のもので昔はいくらでもいたであろう。

キイロヤマトンボの当地唯一の採集記録は日浦勇氏のもので成育場所は不明。他に猪名川、加古川の上流でとれている外近畿で知られた産地は少い。幼虫はかなり大きな河川の上流水草の多い緩流域にすむと言う。

オオエゾトンボは最近迄は神戸では比較的多かった種で中心街の路上を巡回しているのをよく見か

けた。幼虫は酸性湿地帯の泥底の水溜り、細流中にすむ。ハネビロエゾトンボは露岩の多い低山集水域のサワガニがいるような砂十泥底の小流中の朽葉下で幼虫がみつかる。近くに前種がすむ水域がある場合もあるが本種の棲息地は一般に高木の少い明るい低山地である。

両北区に広く分布する美しい春のトンボ、ヨツボシトンボは水酸化鉄を含む泥土が適するため以前山間に溜池が沢山あった頃には六甲山系には格別多いトンボのような印象を受けた。翅斑の発達した個体を *praenubila* Newman 型と称し山田町内でしばしば見ている。兵庫県下から 17 種が知られる *sympetrum-flies* の中で注目すべき種としては旧北系のタイリクアカネ、これの国内分布は特異であり、また棲息地は主に海に近い低地の池沼である。羽化後成虫は内陸山間へ移動し夏期裏六甲で二度採集している。昔は現在の神戸市街地にも沢山いた筈だが、今当地での棲息地は西区、明石方面でそれも少くなった。しかし大阪市内では水泳プールで幼虫が発見された例がある。ヒメアカネは低山のオオミズゴケ、モウセンゴケが生える泥湿地に群棲し、ハツチョウトンボと共棲する 경우가多いが、よく見るとハツチョウトンボが小さいながら水溜りに産卵するのにに対し本種は水を避けて泥土上に卵を産んでいる。マユタテアカネは低山に今も相変わらず多いがメスの腹部がオスと同様赤化した個体がいるのは面白い。私が知っている当地でのマダラナニワトンボの産地は前述のベニイトンボが産する西区櫛谷町方面の丘陵地だけである。溜池ができる以前はなだらかな谷間の粘土層上の湿地に群棲していたものと想像している。新幹線すぐ北の伊川谷町白水福寿池は今では周囲の樹林はなく家が建て込んでいるが此処には今もいる。ナニワトンボは樹林に囲まれた池にすみ、かなり普遍的に分布し基盤山地上にも進出している。だが以前私がよく採集した池は今は殆んどなくなってしまった。ネキトンボも同様である。オオネキトンボは低地の広い遠浅の池で見られ離散性が大きく群棲せず以前から余り多くない。南方から飛来するハネビロトンボは神戸市内でも夏期に幾度か見ている。中でも北区ひよどり台南端消防学校南の山間（此処は拙宅の近くであるが）、では 1969-71 年の 8 月、オス数匹が水田上にテリトリーを張っているのを見ている。だが神戸では未だメスを見ていない。播州青野ヶ原自衛隊演習場では生活史が観察されているが、そこは水草の多い遠浅の池で、羽化の際には茎を攀じる。ウスバキトンボのようにプールの垂直な壁面から羽化することはできないらしい。無論当地では越冬できない。

他に今後当地で発見の可能性があるものとしては、北上中と言われるタイワンウチワヤンマ、南方系の偶産種オオギンヤンマ及びアメイロトンボ。タイリクアカネとオナガアカネは目下日本海沿いの地で得られているが、当地でも一応可能性が考えられる。武庫川上流源流山地に棲息するルリボシヤンマ、ヒメクロサナエ、クロサナエのうちヒメクロサナエは山間の落差の余り大きくない長い谷川におり、西宮市北部一帯を今一度調べてみたい。ルリボシヤンマは氷河の後退と共に北地、高地へ逃れたものと言う説もあるが六甲山にはいないと思う。尚本文中芦屋市での藤田吉彦採集のムカシヤンマ、これは同年神戸市教育委員会主催の夏期理科作品展に出ていたものであるが、採集時期がやゝ

遅いのが気になるが同氏(当時市立住吉中学校生徒)の当時学究的態度はその採集日誌より窺はれるので同所でとれたことは間違いないと確信している次第である。末筆ながら採集例を引用させて頂いた東 輝弥, 岡 泉, 日浦 勇, 宮武頼夫の諸氏, 及び日本蛸蛉学会諸兄に謝意を表する。

(1982. 9. 12 記)

#### 参 考 文 献

1. 新昆虫 Vol. 10 No. 2 p. 56 1957 朝比奈
2. 大阪市立自然史博物館収蔵資料目録第 6 - 9 集

### 宝塚大橋の照明燈で採集した蛾(続報その 1)

新 家 勝

#### I は じ め に

1978 年から 1980 年の間に、宝塚大橋の照明燈で採集した蛾について、本誌の第 9 巻第 1 号、第 9 巻第 2 号および第 10 巻第 1 号で報告させていただいたのに引き続いて、今回、1981 年の採集分について報告させていただく。1978 年から 1980 年にかけて、毎日の通勤時に、宝塚大橋で蛾類の採集をしていたところ、3 年目の 1980 年には、ここで新たに採集できる蛾が減少したことを、前回の報告で述べたのではあるが、1981 年は意外に多数の蛾を採集できた。1980 年末に勤務先が変わり、朝夕の通勤時に、宝塚大橋で蛾の採集ができなくなったので、1981 年は帰宅後、ここへおもむいて蛾の採集をすることにした。このため、採集の時間帯が変わったので、採集できる蛾の種類が変わったことが、1981 年に新たに採集した蛾が多かったことの大きな原因と思う。

なお、今回もまた、採集場所については、前回同様、「宝塚市」を省略して記載する。

#### II 採 集 結 果

1. Sphingidae スズメガ科
  - (1) *Dolbina tancrei* Staudinger サザナミスズメ  
1981. 8. 7 武庫川町
  - (2) *Macroglossum saga* Butler クロホウジャク  
1981. 9. 13 武庫川町
2. Sturniidae ヤママユガ科

- (1) *Actias artemis aliena* Butler      オオミズアオ  
1981. 6. 15      南口2丁目
3. *Arctiidae*      ヒトリガ科
- (1) *Agylla collitoides* Butler      キマエホソクロバ  
1981. 6. 18      南口2丁目
- (2) *Paraona staudingeri* Alpheraky      クビワウスグロホソバ  
1981. 6. 14      南口2丁目
- (3) *Agrisius fuliginosus fuliginosus* Moore      ゴマフオオホソバ  
1981. 6. 30      武庫川町
- (4) *Spilarctia impaliris* Butler      クワゴマダラヒトリ  
1981. 9. 2      武庫川町
4. *Agaristidae*      トラガ科
- (1) *Seudyra subflava* Moore      トビイロトラガ  
1981. 5. 27      武庫川町
5. *Noctuidae*      ヤガ科
- (1) *Sineugraphe dysgnosta* Bourish      ウスイロカバスジャガ  
1981. 9. 27      武庫川町
- (2) *Sineugraphe longipennis* Bourish      オオカバスジャガ  
1981. 7. 15      南口2丁目
- (3) *Diarsia ruficauda* Warren      ウスイロアカフヤガ  
1981. 7. 6      武庫川町
- (4) *Amathes efflorescens* Butler      キシタミドリヤガ  
1981. 9. 20      武庫川町
- (5) *Axylia putlis* Linne'      モクメヨトウ  
1981. 9. 18      武庫川町
- (6) *Amphipyra livida corvina* Motschulsky      カラスヨトウ  
1981. 7. 6      武庫川町
- (7) *Amphipyra monolitha* Guenée      オオシマカラスヨトウ  
1981. 9. 29      南口2丁目
- (8) *Bena sylpha* Butler      シロスジアオリング  
1981. 6. 20      武庫川町

- (9) *Plusia eriosoma* Doubleday      イチジクキンウワバ  
1981. 10. 17      武庫川町
- (10) *Parallelia arctotaenia* Guenée      ホソオビアシブトクチバ  
1981. 7. 6      南口2丁目
- (11) *Ercheia umbrosa* Butler      モンムラサキクチバ  
1981. 7. 10      南口2丁目
- (12) *Erygia apicallis* Guenée      アカテンクチバ  
1981. 8. 17      武庫川町
- (13) *Pangrapta obscurata* Butler      リンゴツマキリアツバ  
1981. 5. 30      武庫川町
- (14) *Dichromia amica* Butler      クロキシタアツバ  
1981. 6. 7      南口2丁目
- (15) *Dichromia claripennis* Butler      キシタアツバ  
1981. 9. 21      南口2丁目
- (16) *Edessena hamada* C. et R. Felder      オオシラホシアツバ  
1981. 6. 15      武庫川町
- (17) *Badiza simplex* Butler      フジロアツバ  
1981. 6. 15      南口2丁目
- (18) *Nodaria tristis* Butler      ヒゲブトクロアツバ  
1981. 9. 12      南口2丁目
- (19) *Epizeuxis lilacina* Butler      ウスイロアツバ  
1981. 6. 19      南口2丁目
- (20) *Hydrillodes repugnalis* Walker      ソトウスモンアツバ  
1981. 10. 16      南口2丁目
- (21) *Heliothis assulta* Guenée      タバコガ  
1981. 9. 21      南口2丁目
6. *Notodontidae*      シャチホコガ科
- (1) *Cerura erminea menciiana* Moore      オオモクメシャチホコ  
1981. 6. 22      武庫川町
- (2) *Fentonia ocypete* Bremer      ホソバシャチホコ  
1981. 8. 15      武庫川町

- (3) *Phalera flavescens* Bremer et Grey モンクロシャチホコ  
1981. 8. 15 武庫川町
7. *Lymantriidae* ドクガ科
- (1) *Dasychira locuples confusa* Bremer マメドクガ  
1981. 9. 13 武庫川町
- (2) *Orgyia thellina* Butler ヒメシロモンドクガ  
1981. 7. 12 武庫川町
- (3) *Arctornis 1-nigrum asahinai* Inoue エルモンドクガ  
1981. 6. 18 南口2丁目
- (4) *Ivela auripes* Butler キアシドクガ  
1981. 6. 5 南口2丁目
- (5) *Euproctis similis* Fuessly モンシロドクガ  
1981. 9. 24 武庫川町
- (6) *Euproctis pseudoconsersa* Strand チャドクガ  
1981. 7. 15 南口2丁目
8. *Lasiocampidae* カレハガ科
- (1) *Dendrolimus superans* Butler ツガカレハ  
1981. 9. 7 武庫川町
9. *Thyatiridae* トガリバ科
- (1) *Tethea intensa* Butler ホソトガリバ  
1981. 8. 15 武庫川町
10. *Geometridae* シャクトリガ科
- (1) *Pingasa alba brunnescens* Prout オオシロアヤシャク  
1981. 8. 17 南口2丁目
- (2) *Thalassodes quadraria* Guenée クスアオシャク  
1981. 6. 30 武庫川町
- (3) *Comostola subtiliaria nympha* Bremer コヨツメアオシャク  
1981. 10. 16 武庫川町
- (4) *Problepsis diazoma* Prout クロスジオオシロヒメシャク  
1981. 9. 24 南口2丁目
- (5) *Scopula modicaria* Leech モントビヒメシャク  
1981. 7. 6 南口2丁目

- (6) *Myrteta angelica* Butler クロミスジシロエダシャク  
1981. 9. 29 南口2丁目
- (7) *Bapta temerata* Dennis et Schiffermüller バラシロエダシャク  
1981. 6. 30 武庫川町
- (8) *Synegia esther esther* Butler クロハグルマエダシャク  
1981. 10. 16 南口2丁目
- (9) *Culcula panterinaria sychnospilas* Prout キオビゴマダラエダシャク  
1981. 6. 15 南口2丁目
- (10) *Arichanna gaschkevichii gaschkevichii* Motschulsky ヒョウモンエダシャク  
1981. 6. 19 武庫川町
- (11) *Alcis albifera* Inoue ヒメナカウスエダシャク  
1981. 10. 16 南口2丁目
- (12) *Diplurodes parvularia* Leech ハラゲチビエダシャク  
1981. 8. 17 武庫川町
11. Heterogeneidae イラガ科
- (1) *Scopelodes contracta* Walker ヒメクロイラガ  
1981. 6. 15 武庫川町
- (2) *Parasa lepida lepida* Cramer ヒロヘリアオイラガ  
1981. 8. 14 武庫川町
- (3) *Cnidocampa flavescens* Walker イラガ  
1981. 8. 20 武庫川町
12. Zygaenidae マダラガ科
- (1) *Elcysma westwoodii westwoodii* Snellen van Vollenhoven ウスパツバメガ  
1981. 9. 27 南口2丁目
13. Psychidae ミノガ科
- (1) *Clania minuscula* Butler チャミノガ  
1981. 7. 15 武庫川町
14. Hepialidae コウモリガ科
- (1) *Phassu signifer* Walker キマダラコウモリ  
1981. 6. 10 南口2丁目
15. Pyralidae メイガ科

|                                          |             |
|------------------------------------------|-------------|
| (1) <i>Herculia pelasgalis</i> Walker    | アカシマメイガ     |
| 1981. 7. 21 武庫川町                         |             |
| (2) <i>Hymenia recurvalis</i> Fabricius  | シロオビノメイガ    |
| 1981. 9. 24 武庫川町                         |             |
| (3) <i>Hedylepta noctescens</i> Moore    | キバラノメイガ     |
| 1981. 5. 27 武庫川町                         |             |
| (4) <i>Syllepte signalis</i> Leech       | モンシロクロノメイガ  |
| 1981. 7. 2 南口2丁目                         |             |
| (5) <i>Syllepte ruralis</i> Scopoli      | ウコンノメイガ     |
| 1981. 10. 2 南口2丁目                        |             |
| (6) <i>Palpita nigropunctalis</i> Bremer | マエアカスカシノメイガ |
| 1981. 6. 12 南口2丁目                        |             |
| (7) <i>Glyphodes perspectalis</i> Walker | ツゲノメイガ      |
| 1981. 6. 11 武庫川町                         |             |
| (8) <i>Maruca testulalis</i> Geyer       | マメノメイガ      |
| 1981. 9. 12 南口2丁目                        |             |
| (9) <i>Nomis albopedalis</i> Motschulsky | ホシオビホソノメイガ  |
| 1981. 9. 29 武庫川町                         |             |
| (10) <i>Pyrausta ochrealis</i> Wileman   | マエウスモンキノメイガ |
| 1981. 8. 17 武庫川町                         |             |
| (11) <i>Chilo suppressalis</i> Walker    | ニカメイガ       |
| 1981. 6. 8 武庫川町                          |             |

### Ⅲ ま と め

1981年中に宝塚大橋の照明燈で新たに採集した蛾は、以上の69種であった。これらを科別に分けるとスズメガ科2種、ヤマユガ1種、ヒトリガ科4種、トラガ科、ヤガ科21種、シャチホコガ科8種、ドクガ科、カレハガ科1種、トガリバ科、シャクトリガ科12種、イラガ科3種、マダラガ1種、ミノガ科1種、コウモリガ科1種、メイガ科11種となる。前回の調査結果同様、ヤガ科が最も種類数が多かった。一方、前回少なかったメイガ科が今回は多かった。

特徴ある種として、現在、阪神地方一帯に分布を広げているといわれるヒロヘリアオイラガが採集できた。ツゲノメイガは大型の見事なメイガであり、採集品として報告したのは、1981年6月11日採集の個体だけであるが、1981年6月24日目撃のほか数頭を目撃した。これらは、



宝塚大橋上の植込みに植えられたバクサス（洋種つげ）で生育しているのではないと思われる。

なお、前回、報告したもののうち、関西地方で比較的少ないと思われるアトジロキョウトウを 1981 年 10 月 28 日に 1 頭採集したほか、現在、関西地方で分布を広げているといわれているニセタマナヤガを 1981 年 6 月 30 日のほか数回、目撃した。

#### 〔参考文献〕

北隆館 原色昆虫大図鑑 I

北隆館 日本昆虫図鑑

兵庫昆虫同好会 きべりはむし 第 9 巻第 2 号

## 三田市周辺に於けるミスジチョウの分布

広畑政己・近藤伸一

藤岡（1975）によると、本種は北は北海道から南は九州まで広く分布するようであるが、近畿以西では生息地は少なくなり、山地性の種となるようである。

県下に於ても採集記録は少なく、東部地域以外は主として山地からの記録が大半を占め、これまでに発表されているものは、西播地域を除くと十数ヶ所を数えるにすぎない。

県下東部の記録としては、神戸市森林植物園<sup>11)</sup>、東灘区御影町<sup>13)</sup>、中央区再度山<sup>3)</sup>、灘区域の下通にある神戸高校付近<sup>6)</sup>、宝塚市<sup>8)</sup>、川西市東谷<sup>12)</sup>、三木市志染町大谷<sup>2)</sup>、三田市乙原<sup>14)</sup>、氷上郡柏原町<sup>7)</sup>などがあり、北部の記録としては、和田山町糸井<sup>4)</sup>、出石町名荷谷<sup>4)</sup>、大屋町筏<sup>5)</sup>、同町若杉<sup>5)</sup>、氷ノ山<sup>5)</sup>、扇ノ山<sup>5)</sup>、豊岡市妙楽寺<sup>5)</sup>、同市神武山<sup>5)</sup>などが報告されている。また、県下南西部に於ての記録は極めて少なく、上月町久崎<sup>12)</sup>、佐用町若州<sup>10)</sup>、同町海内<sup>1)</sup>があるにすぎなかったが、1982 年の冬期の調査によって、96ヶ所の新しい産地が見つかった（広畑、佐々木、1982）。

新しく見つかった西播地域での産地は、その大半が山間部の民家の周辺にあり、庭木として植えられたカエデ類を食樹として、点々と広く分布している。このような事例や、これらの産地に於ける平坦地からの記録などから判断すると、東部地域に於ても広く分布しているのではないかと考え、この度の越冬幼虫の調査となった。

調査は 1982 年の冬期に三田市を中心に神戸市山田町、淡河町、押部谷町、大沢町、道場町、宝塚市北部、吉川町、三木市など約 60ヶ所を行った。その結果、後記する 28ヶ所で越冬幼虫を採集することができた。

越冬幼虫は、西播地域同様民家の庭やその周辺に生育するカエデ類から見いだされた。食樹の種名は定かではないが、園芸種のシダレモミジの類からイロハモミジと思われる種までかなり多種のカエデ類に依存している。しかし、1本の木で確認できる幼虫の数は少なく1頭から5頭で、その多くは1～2頭であった。吐糸で枝に葉柄を固定しているものの多くに幼虫が見られるが、葉柄が固定されていて台座のあとがあっても幼虫がいない場合もある。これは鳥などの天敵によって食べられたものと考えられる。また、越冬幼虫を持ち帰り、庭のカエデに葉を結びつけておくと、低温下にもかかわらず巣の修理をしてもとの位置に静止しているが、ある日突然多数の幼虫が、何かに食べられたのかいなくなったこともあるので、今回発見した産地でも、天敵に遭遇することなく成虫までになって、我々の目にふれるのは、極くわずかになってしまうものと思われる。ともかくこの度の調査で発見した産地とその他に判明した記録を併せて報告しておく。

尚、採集者の明記していないものは、筆者両名の採集したものである。

#### ＜採集記録＞

三田市：上本庄（幼虫2頭，14-II-1982），上青野（幼虫2頭，14-II-1982），小柿上（幼虫5頭，14-II-1982），小柿東（幼虫2頭，14-II-1982），布木（幼虫2頭，14-II-1982），末吉（幼虫8頭，14-II-1982），十倉（幼虫1頭，14-II-1982），下里（幼虫1頭，14-II-1982），波豆川（幼虫1頭，14-II-1982），下月瀬（幼虫1頭，14-II-1982），大磯（幼虫2頭，14-II-1982），沢谷（幼虫1頭，10-II-1982，広畑）。

宝塚市：上佐曾利（幼虫1頭，14-II-1982），波豆（幼虫2頭，14-II-1982），武田尾（幼虫1頭，II-1980，岡嶋秀紀）

神戸市：北区淡河町東畑（幼虫1頭，28-II-1982），同町中山（幼虫1頭，28-II-1982），同町西畑（幼虫2頭，28-II-1982），大沢町神付（幼虫3頭，28-II-1982），同町上大沢（幼虫2頭，28-II-1982），同町中大沢（幼虫1頭，28-II-1982），同町日西原（幼虫2頭，28-II-1982），道場町生野（幼虫1頭，10-I-1982，広畑），東灘区本山町岡本（成虫1頭，1962，青山潤三）。

美濃郡吉川町福井（幼虫2頭，10-II-1982，広畑）。

以上25の記録を報告したが、まだ充分な調査ができていないので、今回の調査で発見できなかったところでも、丹念に探せばまだまだ産地は見つかるものと思われる。

また、川西市、猪名川町、六甲山北部の有野町、山口町、有馬町などもまだ調査をしていないが、これらの地域からも発見できるものと考えている。

未筆ながら本種の採集記録を御提供下さった青山潤三、岡嶋秀紀の諸氏と三木市や三田市の状況に

ついて御教示下さった小倉滋、高橋邦明の諸氏にお礼申し上げる。

＜ 参 考 文 献 ＞

- 1) 岩村 巖・中谷貴寿(1964)西播の蝶分布資料(3), 兵庫生物 4(5): 288
- 2) 小倉 滋・高橋久夫(1978)三木市内の蝶について きべりはむし 6(1・2): 11
- 3) 加藤昌宏・武衛晴雄(1981)神戸市の蝶 神戸市立教育研究所 兵庫
- 4) 木下賢司(1979)床ノ尾山の蝶 IRATSUME (3): 29
- 5) 高橋 匡(1979)但馬地方昆虫目録 IRATSUME (3): 51
- 6) 田中利典(1969)六甲山・摩耶山の蝶 MAIMAI (1): 5
- 7) 丹波昆虫研究会(1957)丹波の蝶 丹波昆虫(3): 12
- 8) 日浦 勇(1969)日本列島の蝶 大阪市立自然科学博物館収蔵資料目録第1集 大阪
- 9) 広畑政己・佐々木董(1982)兵庫県南西部に於けるミスジチョウの分布 ひろおび(6): 35-37
- 10) 広畑政己(1980)兵庫県に於ける蝶5種の新産地 てんとうむし(6): 30
- 11) 三木 進(1979)六甲山系(西部)の蝶 きべりはむし 7(1): 5
- 12) 山本広一(1971)兵庫県の蝶相 月刊むし(3): 8
- 13) 吉阪道雄(1948)ミスジチョウを我庭(御影町)で採集する MDKNEWS 1(2): 14
- 14) 吉田 豊(1981)三田市乙原地区の蝶 てんとうむし(7): 43

MASAMI HIROHATA 姫路市打越 1343-259

SHINICHI KONDO 神戸市垂水区岩岡町岩岡 619-57

## 兵庫県のジョウカイモドキ (兵庫県甲虫相資料・110)

高 橋 寿 郎

日本産のジョウカイモドキに関する総括的な研究は残念ながら現在見当らない。従って日本産のこの科のものがどれだけいるのかもよくわからない(中根博士によると概数30となっている, 1972。筆者が手許にある文献を基に目録を作製した所現在の日本産としては40種が数えられた)。

中根博士が"あきつ"誌上に発表になられた"クサジョウカイ類の概説"(5巻, 3号, 1956。6巻, 1号, 1957)並びに原色での22種の図説(原色昆虫大図鑑, 1963)によって兵庫県産

のものはほとんど同定出来るので現時点での県下のこの類の分布状況をながめて見ることにした。

Family Melyridae

ジョウカイモドキ科

1. *Ebaeus chlorizans* Kiesenwetter, 1874      ルリヒメジョウカイモドキ  
Kiesenwetterにより "Japonia" を産地に記載された種である (Berl. Ent. Zeit., 18: 286, 1874)。黒色で上翅は藍色。触角基半, 脚は黄褐。体長, 2.5 mm。

注意すれば多くいるように思われるが記録が案外少ない。

産地: 神戸市烏原 (5 exs., 11-V-1980)\*。氷上郡〔山本, 1958〕。

2. *Ebaeus oblongulus* (Kiesenwetter, 1874)      クギヌキヒメジョウカイモドキ  
本種は Kiesenwetter により "Japonia" を産地に *Hypebaeus* 属で記載された種である (I. C., P. 287, 1874)。中根博士は Wittner 博士の私信で *Ebaeus* 属のものであることを記しておられる (1956)。

長形で黒褐, 触角, 肢, ♂上翅縁後端は淡色, 体長 2.5 mm

本種は神戸市内では大変多くいる。県下での記録は今迄無かったがこれは注意が足りなかったからだと考えられる。花に来ている。

産地: 神戸市太山寺 (1♂, 2♀, 3-V-1967), 烏原 (2♂, 1♀, 18-V-1975, 1♂, 11-V-1975, 3♀, 11-V-1977, 4♂, 1♀, 3-V-1979, 1♂, 1♀, 7-V-1979, 1ex., 16-V-1979, 1ex., 24-V-1979, 1♂, 19-V-1980, 1♂, 29-V-1980, 1♂, 1♀, 23-V-1981, 1♂, 1♀, 25-V-1981, 1♀, 16-IV-1982, 2♀, 22-IV-1982, 1♀, 5-V-1982, 2♀, 13-V-1982, 1♀, 29-V-1982, 1♂, 16-V-1982, 1♂, 11-VI-1982, 1♂, 18-V-1982, 1♀, 30-VI-1982)。

3. *Ebaeus picticollis* Kiesenwetter, 1874      キムネヒメジョウカイモドキ  
Kiesenwetter により "Nagasaki" 原産で記載された (I. C., P. 287, 1874)。黒褐色であるが頭前半, 上翅端, 触角, 腿節を除く肢は橙黄。割合ははっきりした色彩で他種と区別出来る。中根博士の原色図説がある (1963)。体長 2.5 mm。

兵庫県下での記録のなかった種。神戸市内で採集された。恐らく本種も注意が足りないからであろう。

産地: 神戸市烏原 (1ex., 23-VI-1982)。

4. *Attalus drouardi* Pic      コヒメジョウカイモドキ

黒くてやゝ金銅光沢および, 上翅はかすかに緑光沢がある。触角, 肢は淡褐。体長 3 mm。

---

\* 産地のところで〔〕の中のものは文献からの引用, ( ) の中のものは筆者所有標本である。

北部方面での記録があるが余り知られていない。もっと産するように思われる。

産地：豊岡市妙楽寺〔高橋，1975〕。城崎郡蘇武岳〔高橋，1975〕。

5. *Attalus japonicus* Kiesenwetter, 1875 ヒメジョウカイモドキ

Kiesenwetterによって"Japonia"を産地に記載された種である(1. C., P.286, 1875)。

黒色で藍光沢をおび、肢、触角は黄褐、上翅は点刻され、翅端は凹んで立毛を具える。体長8mm。

幼虫と蛹に就いては林博士の報文がある(あきつ，10巻，4号，P.15-19，1962)。

兵庫県下では普通にいる種である。

産地：川西市笹郡〔仲田，1978〕。宝塚市武田尾(4 exs., 25-V-1954)。神戸市二十

渉(1 ex., 26-V-1955)。多可郡鳥羽(6 exs., 19-V-1975)。朝来郡生野

(1 ex., 8-V-1956)。養父郡田淵山(1 ex., 5-V-1975, M. Yuma leg)。

美方郡扇の山〔高橋，1975〕。

6. *Malachius prolongatus* Motschulsky ツマキアオジョウカイモドキ

暗緑色で光沢は鈍く、時に藍色をおび、体下は緑藍色、頭部前方、口部、触角基部下面及び中部、前肢及び膝部、上翅端、前中胸側部下面等は黄色である。

林、竹中氏によって幼虫の図説があり(あきつ，8巻，4号，P.73-76，1959)，林博士は産卵習性について記しておられる(甲虫ニュース，№21/22：10，1974)。

本種も県下に極めて多く産する種である。花上に多い。

産地：三原郡論鶴羽山〔堀田，1978〕，川西市山原，一の鳥居，笹部〔仲田，1978〕。

神戸市保久良山(1 ex., 1-V-1975)，鳥原(1 ex., 29-IV-1970，1 ex., 17-V-

1970，1 ex., 23-V-1971，1 ex., 9-V-1971，1 ex., 14-V-1972，

1 ex., 22-IV-1980，1 ex., 1-V-1980，1 ex., 17-IV-1981，1 ex.,

9-V-1981，1 ex., 7-V-1981，2 exs., 22-IV-1982，1 ex., 16-V-

1982，1 ex., 25-V-1982)，山の街(1 ex., 29-IV-1959，1 ex., 5-V-

1958，1 ex., 7-V-1959)，谷上(2 exs., 29-IV-1958，2 exs., 3-V-

1967)，妙法寺(1 ex., 24-IV-1979，2 exs., 30-IV-1979)。多可郡白山

(3 exs., 27-V-1973)，鳥羽(1 ex., 1-V-1975，1 ex., 8-V-1976)，

飾磨郡家島(1 ex., 26-V-1978)〔上田，1981〕。神崎郡大河内町川上(1 ex.,

21-V-1977)。相生市三濃山(1 ex., 3-V-1969，4 exs., 7-V-1972，

2 exs., 12-V-1974，1 ex., 18-V-1974)。養父郡氷ノ山〔高橋，1975〕。

7. *Laius histrio* (Kiesenwetter, 1895) ヒロオビジョウカイモドキ

KiesenwetterによってLajus属で"Kiushiu"を産地に記載された種である(1. C., P.283-284, 1895)。LewisはLaius属として記録している(1895)。

黒色，前胸側部は細かく弱く点刻され，上翅には巾の広い橙色の横帯があって白く縁どられ，会合部で狭まる。触角，肢は黄褐色。♂の触角は第8節が大きく異形。体長2.5～3mm。

上翅の横帯は黄白色でやや狭いものを *ab. kiesenwetteri* Lewis と言う。注意すれば見つかる。分布は本州，四国，九州，兵庫県下には広く普通に産する。

産地：川辺郡猪名川町槻並（1 ex., 2-VII-1978）。川西市笹郡〔仲田，1978〕。宝塚市武田尾（1 ex., 25-VII-1954）。神戸市烏原（1 ex., 30-VI-1963, 1 ex., 31-VII-1969, 1 ex., 29-VIII-1970, 1 ex., 19-VIII-1970, 1 ex., 8-VIII-1971, 1 ex., 6-VIII-1972, 1 ex., 10-VIII-1974, 5 exs., 11-VII-1976, 1 ex., 5-IX-1976, 1 ex., 19-VI-1982, 1 ex., 26-VI-1982, 2 exs., 27-VI-1982, 2 exs., 5-VII-1982, 1 ex., 9-VII-1982, 1 ex., 17-VII-1982, 2 exs., 13-VII-1982, 3 exs., 15-VII-1982, 1 ex., 22-VII-1982, 1 ex., 27-VII-1982, 2 exs., 5-VIII-1982, 1 ex., 9-VIII-1982）藍那（1 ex., 14-VII-1978），妙法寺（1 ex., 28-III-1979）。朝来郡生野（2 exs., 4-VIII-1957）。宍粟郡音水（1 ex., 15-VII-1978）。

8. *Laius niponicus* Lewis, 1895      クロキオビジョウカイモドキ

Lewis によって "Hakodate sand-hills ; also at Kobe " を産地に図入りで記載された種である（Ann. Mag. Nat. Hist. 6, XVII : 116, pl. VI, fig. 8, 1895）。

黒色，前胸両側は密に皺状に点刻され，上翅は両側，会合部で広がる黄色横帯を具え，肢は赤褐，腿節のみ暗色。体長3.5mm。

県下での記録が案外少ないが調査不充分だと思う。もっといそうな気がする。

産地：Kobe〔Lewis, 1895〕。赤穂市天和（1 ex., 25-IX-1974）。氷上郡〔山本，1958〕。

9. *Laius pellegrini* Pic      キアシオビジョウカイモドキ

黒色，前胸両側に皺状に点刻され，後方に横溝がある。上翅は黄色横帯を具え，両側会合部で広がる。脚は黄褐。体長3.5mm。ヒロオビジョウカイモドキに良く似る種である。

県下での記録は次の1つだけであまり良く分布がわからない。

産地：豊岡市妙楽寺〔高橋，1975〕。

10. *Dasytes japonicius* Kiesenwetter, 1875      アオグロケンジョウカイモドキ

Kiesenwetter により "Nagasaki" を産地に記載された種である（1. C., P. 288. 1875）。中根博士の図説がある（1963）。分布は本州，九州。兵庫県下の記録は少い，もっといそうに思われる。

産地：相生市三濃山（1 ex., 6-V-1973, 1 ex., 14-VI-1974）。養父郡氷の山〔高橋，

1975 ], 美方郡扇の山〔高橋, 1975 〕.

11. *Dasytes vulgaris* Nakane, 1963 ケシジョウカイモドキ

中根博士によって "奥日光, 上高地, 扇雲峡 (北海道)" を基産地に記載された種である (Frag. Coleop. Pars. 12:47, 1968). 本種も同博士によって原色で図説されている (1968).

県下の記録は次のものを知るのみである。

産地: 美方郡扇の山〔高橋, 1975 〕.

以上一応11種の県下産ジョウカイモドキを記録した。一般に余り注意されていないグループであり筆者の調査も不十分である。特に海浜性の種などの調査は必要であろう。更に詳しい調査をやらな  
いといけないと考える。 (Sept. 1982)

## 宝塚市内におけるナガサキアゲハ春型の採集報告

新 家 勝

1980年夏頃から、阪神間でナガサキアゲハの採集された記事が、新聞誌上に度々、掲載されるようになったが、春型の採集例はなく、本種が年間を通じて阪神間で発生しているかどうかは疑問視されていた。ところで、1982年に筆者は、宝塚市内で本種の春型1♂を得たほか、同市内および近接地域で目撃したので、その状況を報告する。

### (1) 1980年の春型採集および目撃記録

- ア 1980. 5. 9 伊丹市昆陽大池で昆陽池公園内のタニウツギに飛来した新鮮な1♂を目撃した。  
イ 1980. 5. 9 宝塚市逆瀬川1丁目で、飛翔中の新鮮な1♂を筆者の長男が目撃した。  
ウ 1980. 5. 10 宝塚市野上2丁目で、モチツツジに飛来した新鮮な1♂を筆者の長男が採集した。標本は筆者が保存している。

### (2) 参 考

1980. 5. 10 前後に、幾つかの新聞紙上に掲載された記事から、参考までに阪神間におけるその他の採集例を紹介すると次の通りになる。

- ア 1982. 5. 8 尼崎市塚口荻分で1♀が採集された。(57. 5. 11朝日新聞朝刊および57. 5. 11読売新聞朝刊)  
イ 1982. 5. 9 西宮市段上町3丁目で1♂が採集された。(57. 5. 11朝日新聞朝刊)  
ウ 1982. 5. 12 西宮市田近野町で1♀が採集された。(57. 5. 11毎日新聞朝刊)

1980. 5. 10 前後に筆者と長男が目撃または採集した個体は、いずれも新鮮なもので、この時期に羽化したばかりのものと思われる。また、筆者等の目撃地および採集地と新聞記事における採集地とは比較的近接している。恐らく、1980. 5. 10 前後に、宝塚市南部、西宮市の旧市街地北部、伊丹市東部および尼崎市北部を含む地域のどこかで一斉に羽化した個体が、これらの地域内のあちこちで採集または目撃されたものと推定される。今後は、幼虫と蛹の発見に努めたい。

## 宝塚市清荒神のチョウ（追録 2）

加 藤 信 一 郎

### 1. ダイミョウセセリ *Daimio tethys Ménétriès* の関東型を採集

1982年5月6日午前、自宅の庭で、スオウの葉上に翅を開いて静止していた1♀を採集した。発生後間もない個体で、1972年に1♂を採集して以来、10年振りの記録である。

本種は、若狭湾東部と伊勢湾西部を結ぶ線より東の地域に産するものは、後翅表に白帯をもたず、小白斑がわずかに現われるか、全く無紋で関東型と呼ばれ、それより西の地域産は顕著な白帯をもち関西型と呼ばれる、その境界に接する福井・岐阜・愛知西部・滋賀・三重東部・京都東北部では中間型が見られる（川副・若林、1976、原色日本蝶類図鑑）。

採品は中室内に小白点を、第1,2室にかすかに認められる痕跡をそれぞれとどめる程度にまで白帯が消失し、明らかに関東型を示している。前翅長19mm。上述した境界線を超えて関東型が採集された記録として報告する。

### 2. ナガサキアゲハ *Papilio memnon thunbergii* von Siebold その後の生息状況

本年5月に入って間もなく、参道脇疎林内の小道を蝶道として高飛するのを2度ほど目撃していたが、29日正午1♂を採集した。翅体の傷み具合から見て、発生後相当日数を経過しているように思われる。前翅長58mmとやや小型である。

7月19日、妻が1♂を採集した。隣家の庭先におかれたミズ色のポリバケツの縁に翅を開いて静止していたもので、鳥にでもつつかれたのか、不自然な傷み方をしているが新鮮な個体である。

前翅長71mm。これで春夏を通しての生息が確認されたことになる。今後は雌の採集が望まれる。

### 3. ヒオドシチョウ *Nymphalis xanthomelas japonica* Stichel の再記録

6月6日正午、自宅裏の小さいため池のさく沿いに飛んでいた新鮮な1♀を採集した。前翅長



89 mm。1969年6月自宅の庭先で2♂を採集して以来目撃すらしておらず、実に13年振りの採品である。上述したダイミョウセセリの再現といい、久しく破壊が進んでいた周辺の自然環境にも、漸く回復の兆しが現われてきた証かも知れない。

#### 4. オオチャバネセセリ *Polytremis pellucida* Murrayの初記録

6月27日昼ごろ、クズ、ススキ、カナムグリなどにおおわれた自宅裏側溝沿いの土手で、完全な1♂を採集した。本種は本州西部、四国、九州の暖地では山地、低山地に多く、かつ必ずしも普遍的に生息していない。

これで清荒神で確認されたチョウは42属54種、セセリチョウ科は6種となる。

なお、上述した4種とも採集当日は晴天であった。

### カバフキシタバを西宮市角石町で採集

芦田 久・佐藤 学

カバフキシタバ *Catocara mirifica* Butlerは兵庫県や京都府などの西日本の低山地に産するが、個体数は少ないようである。筆者らは六甲山系東端の西宮市角石町で本種を記録することができたので、報告しておきたい。

1 ex. 兵庫県西宮市角石町 27・Ⅶ・1982 佐藤 学 採集

蛇足ながら、同地では他のカトカラは、キシタバが5～6頭とコガタキシタバが1頭採れているだけである。

### 宝塚市と西宮市の隣接地におけるヤンマ類の目撃例二つ

新 家 勝

#### (1) アオヤンマ

アオヤンマは、鮮やかな緑色で、胸部前面および腹部に黒条のある中型のヤンマである。かつて、阪神間ではタケヤンマと呼ばれ、ギンヤンマの次に多いヤンマであったが、農業用溜池や湿地帯の

減少に伴って姿を消して行った。アオヤンマは、アシ、マコモ、ガマ、ショウブなどの間や立木の周囲または民家の軒先などをゆっくりと飛び回り、他の昆虫などを捕食する習性があり、特にクモ類をよく捕食する。余り大型でないオニグモなどが、その巣上にいるのを見つけると、巣の前面の空間で静止しながらチャンスをつかみ、飛び付いて捕食する。

このようなアオヤンマを久しぶりに西宮市内で目撃したので報告する。1982. 5. 24の12時、西宮市田近野町の工場敷地内にある松林中でムクゲ、ネズミモチなどの周辺を徘徊する新鮮な1個体を目撃した。この辺りには、後述の通りギンヤンマがよく見られ、マルタンヤンマの産卵が目撃された所があり、このあたりで偶然発生したのかあるいは僅かばかり発生し続けているのかもわからない。

## (2) マルタンヤンマ

マルタンヤンマは、体翅共、褐色の大型のヤンマである。特に、成熟した雌では、褐色は著しく、かつ、胸部側面の黄紋は鮮かで、水面の少し上で細かく羽ばたきながら静止しているときなど普通種でない印象を与える。筆者がトンボ採りに夢中だった1940年頃、当時の武庫郡大庄村（現在、尼崎市）の農業用溜池では、昼間の産卵と夕方の摂食飛翔がよく見られた。そして、初めてその雌を捕獲したときは、コオニヤンマのドロメン（当時、その地域ではギンヤンマなどの老熟した雌で翅色が著しく褐色になったものをドロメンと称した。）を捕えたと思って驚喜した。図鑑で調べたところ、マルタンヤンマであり、大阪付近では稀ではないが決して普通種でないとのことであった。

前置きが長くなったが、このようなマルタンヤンマを久しぶりに宝塚市内で目撃したので、その状況を報告する。少し古い記録ではあるが、1980. 8. 1の12時頃宝塚市仁川北2丁目の小仁川で産卵中の雌1頭を目撃した。小仁川は、阪急電鉄仁川駅西北にある弁天池から流出する小河川であり、途中で民家からの下水の流入があるが、仁川と合流点附近まで、鯿などの小魚も多く、ギンヤンマなどがよく見られる。産卵を目撃したのは、仁川との合流点の少し上流で、川幅が少く広くなり、流れが緩かになっている所であった。ただし、この場所もかなり汚染されており、ここで生育しているかどうかは分らない。また、その後も休日には、昼間、夕暮れ共、幾度か訪れたが、採集も目撃もできなかった。

## 摩耶山におけるヒメコブヤハズカミキリの採集例

芦 田 久

「兵庫県甲虫相資料・96」を拝見したところ、ヒメコブヤハズカミキリ *Parechthistatus*

*gibber gibber* (Bates, 1873) の摩耶山における記録は案外少なく、特に近年の記録がないようなので、筆者の採集例を報告しておく。

1 ♀ 20. VII. 1981

筆者採集・保管

ロープウェイ駅からやや離れた山頂付近の登山道沿いでピーティングによって得た。山頂付近ではコブヤハズの好みそうな状態の朽木はほとんど見つからず、また、この日は小雨が降っていたので、ピーティングを主に行なっていたところ、地上約 1 m の高さにぶら下がっていた枯葉つきの枯枝から上記の 1 ♀ を採集することができた。

### ヒゴヒラタエンマムシ神戸市内に産す (兵庫県甲虫相資料・111)

高 橋 寿 郎

ヒゴヒラタエンマムシ (*Hololepta higoniae*) は種名のごとく Higo (肥後) 産で Lewis 氏が記載された種である (Ann. Mag. Nat. Hist., 6, XIV, P. 174, 1874) (同じく Lewis 氏が Higo, Konose, Yuyama 産で *H. parallela* として記載された種 — I. C., 5, XIII, 1884, P. 182 — も本種のシノニムである)。平べったい黒色の光沢あるきれいな種であり (体長 8 mm), 分布も日本 (本州, 九州) 以外台湾, 印度支那と広いようであるが兵庫県下では今迄全く記録が見当らなかった種である。1982 年 6 月 7 日神戸市内の烏原でアカメヤナギの樹 (岡村はた博士に同定して頂いた) にピッタリとくっついているのを採集した。樹皮下性と言うことであるからもっと注意すれば案外いるのかもしれないが県下からは初めての記録と思われるので此処に報告しておきたい。このヒラタエンマムシ属 (*Hololepta*) には日本で 3 種知られていて兵庫県下にも 3 種とも記録されるのだがいずれも記録が大変少い。どれも見つかることが案でない種のようなのである。参考までに他の 2 種の記録を紹介しておく。

○ オオヒラタエンマムシ (*Hololepta amurensis* Reitter, 1879). 種名のごとく Amurland 産で記載された種 (Deutsche Ent. Zeitschr. XXIII, 1879, P. 213). 日本からは Lewis 氏が "Junsai lake" (北海道) から記録された (1884)。県下からは氷上郡 [山本, 1958], 美方郡扇ノ山 [辻, 1963, 辻, 岸田, 1972] の記録があるだけの種。

○ ヒラタエンマムシ (*Hololepta depressa* Lewis, 1884). この種は Lewis 氏によって "Kumagawa in Higo, Ishikari river in Yezo" と九州, 北海道産で記載された種である (1884)。県下では筆者が多可郡鳥羽で採集した (1 ex., 5-VII-1975) だけで他に県下の記録を知らない。

以上いづれにしても 3 種共調査が不十分なエンマムシたちである。

尚兵庫県には上記ヒラタエンマムシ属をもふくみエンマムシ科のものは 33 種が分布していることがわかっている。これ等に就いてはいづれ機会を見て報告したいと考えている。

### カツラネクイハムシ神戸市北区芦谷溪谷に産す (兵庫県甲虫相資料・121)

高 橋 寿 郎

カツラネクイハムシ (*Donacia katsurai* Kimoto, 1981) は桂孝次郎氏が芦屋市の奥池で採集されたもの並びに春沢圭太郎氏が全じく芦屋市奥山町イモリ谷にて採集されたものに基づいて木元新作博士が記載された種である (Bull. Osaka Mus. Nat. Hist., No 34, P. 24, Fig. 2, 1981)。その後 "野尻湖昆虫グループ" の皆さん方の精力的なネクイハムシ類の分布調査の結果このカツラネクイハムシが兵庫県小野市, 岡山県阿哲郡哲西町の 2ヶ所にも産することが報告された (I. C., P. 30, 1981)。

筆者は 1982 年 6 月 5 日神戸大学の奥谷禎一博士の御世話で神戸市が "ゴミ捨て場" として計画している北区の芦谷溪谷を頌栄短大福岡誠行教授の案内で調査する機会を得た。この溪谷の中に可成りの湿地帯があり, そこでこのカツラネクイハムシを 8♂♂, 2♀♀採集することが出来た。既に芦屋市と小野市での記録があるのでその中間に位置するこの地に分布していることは別にどうということはないと思われるがこの湿地が近々無くなる地点でもあり, また余り産地の知られていない種だけに記録として報告しておきたい。6 月 11 日には蜂谷幸雄氏に御無理を御願ひして再度同地へ調査におもむき可成り注意深く 2 人で調べたが 2♂♂しか採集出来ず, しかもいづれも限られた地点のみにしか見出されなかった。食草ははっきりとはしなかったが生えていたシラスゲに止っていた (植物の同定は岡村はた博士にして頂いた同博士に厚く御礼申しあげる)。時期的に成虫の出現がもう少々早いのかとも思う。相当付近を広範囲に調べても見つからなかったがどのような生活をしているのかが全く見当がつかなかったことは残念である。早い時期にもっと詳しく調べれば或は更に多くいるのではな

いかと考えられる。

このあたり“神戸市最後の秘境”と言われるだけあって六甲山が国立公園としては名ばかりの無秩序開発をやりほうだいの地である現状から見ればまだまだ自然が残っている。たゞ可成り交通も不便であるし神戸市がそのあたりの土地を買占めて“ごみ捨場”にしようとしているだけに数年を経ぶして様相は一変するであろう。反対運動はやっているが反対ばかりで無く限られた地域内での自然の温存方法の検討を同時に考えて貰う運動であってほしい。この湿地にはハッチョウトンボを多産する。ヒメヒカゲとかヒメタイコウチの産の期待もあるが充分わかっていない。ヨツボシナガツツハムシ（フジから）、イカリヒメジンガサハムシのように神戸市内での産の余り個体数の多くない種が採集出来ている（後者は県下での記録も大変少いがこの地では多くいる。1 ex., 5-VI-1982, 11 exs., 13-VI-1982, leg.）。マヤサンオサムシも道路を歩行中のものが採集出来た。このあたりは冬期のオムムシ掘りでオオオサムシ、マイマイカブリを多く掘り出せたがクロナガオサの産の確認が出来ていない。以上記録として報告しておく。

末文で大変申し訳無いがこの地の調査に便宜を与えて下さった奥谷、福岡両先生並びに蜂谷氏に厚く御礼をのべさせて頂く。

## キイロヒメテントウ神戸市内に産す （兵庫県甲虫相資料・122）

高 橋 寿 郎

キイロヒメテントウ *Scymnus (Pullus) syoitii* H. Sasaji, 1971 は宮本正一博士が福岡市の香椎で採集された♂♂、♀♀をタイプに原色図をつけて佐々治寛之博士により記載された種である（*Fauna Japonica, Coccinellidae*. pp.146-148, pl. VII, fig. 54, 1971）。

小さい種で（体長 1.15 - 1.45 mm），筆者が神戸市の鳥原で採集して佐々治博士に同定御願ひしたものがこの種に該当するとのこと（1 ex., 16-VI-1975）。同博士によると原記載に使用された標本以外、小笠原産のものを知るだけの珍しい種だとのこと。勿論本州からも初記録になるし兵庫県下の初記録になる。たゞ残念なことに筆者の不注意でどのような状況で採集したか記憶に無くその棲息状況が全くわからない。さらに調査をしなくてはならないと思っている。

同定して下さい佐々治博士に厚く御礼申し上げる。尚標本は同博士の手許に保管されている。

## 兵庫県産ツノカメムシ類の産地追加

高 橋 寿 郎

本誌9巻2号(1981)にその当時での兵庫県産のツノカメムシ類の分布をまとめておいたがその後若干の産地が増えたので此処にそれ等をまとめておきたい。この報告には蜂谷幸雄氏に多大の御援助を頂いた記して厚く御礼を申し上げる。

尚学名は前報文に記したので今回は省略した(番号は前報文でのもの)。

1. セアカツノカメムシ。神戸市鳥原で1982年に1♀を採集(4-VII-1982), 芦谷溪谷でも1♀を得た(13-IX-1982)。
2. エゾツノカメムシ。黒佐和義博士から私信(1981年11月)で摩耶山高尾ケーブル駅付近で博士が神戸に居住しておられた時代に得たことがあると御教示頂いた。
5. ハサミツノカメムシ。川西市能勢妙見山で1♀を採集(30-VII-1982), 更に神戸市芦谷溪谷でも1♀を得た(13-IX-1982)。
7. マルモンツノカメムシ。川西市能勢妙見山で1♀を採集(30-VII-1982)。
8. オオツノカメムシ。黒佐博士から私信で本山村で採集したことがあるむね御教示頂いた。今迄の県下における本種の記録は数も少いし、いずれも1930年代の古いもので最近の記録は全く無かった。1982年9月18日蜂谷氏と芦谷溪谷(神戸市)に採集に行った際同氏が1♀を採集された。一番新しい記録であると共に本種がこのあたりにいることは大変うれしい。標本は同氏の御好意で筆者が保管している。
10. ベニモンカメムシ。川西市能勢妙見山(4 exs., 30-VII-1982)。神戸市芦谷溪谷(1 ex., 13-IX-1982)。

尚カメムシ科のウシカメムシ *Alcimocoris japonensis* Scott は全国的にも少い種のようなであり兵庫県下での記録も洲本市先山〔堀田, 1975〕, 氷上郡柏原〔山本, 1958〕, 豊岡市〔高橋, 1975〕が知られているがいずれも1頭づつの記録で少い。神戸市の鳥原で1981年1頭(16-V-1981), 1982年2頭(26-VII-1982, 30-VII-1982), いずれも蔦状になっている枯枝から叩網で得ている。もっと詳しく調べれば更にいるかも知れないが一応記録しておきたい(兵庫県のカメムシ科のまとめを発表する迄に若干時間がかゝりそうなので取りあえず発表させて頂く)。他に県下では相生市三濃山で1頭得ている(1 ex., 6-VII-1973)。

## 県 関 係 文 献 紹 介

- 六甲の自然 B6判, 280P. 1982年8月刊, 神戸新聞出版センター。

"六甲の自然" が六月社から出版されたのは1959年のことで可成りの好評でその増補版が1964年に出版された。その後出版社の倒産と言うことで絶版になっていたのが今回新に編集をし直して出版されたのが本書である(編集 室井 綽, 清水美重子)。執筆者は前回のまゝの人もあれば今回新たに加った人もいる(兵庫県生物学会, 神戸生物クラブ所属の方々)。所謂雑花的な執筆で個性も無く, 通俗的な内容で文献としては今一步物足りない。執筆者中昆虫に関しては本会々員の皆さんが担当されている所が多い。(1冊 980円にて書店で販売)

## 同 好 会 誌

- ひょうご 陸水生物(兵庫県陸水生物同好会々報), Vol.2, No.2, Apr. 1982. Vol.2, No.3, Sept. 1982.
- Parnassius, No.26., Insect, No.27, April, 1982(淡路昆虫研究会)。
- ひろおび, No.6, May, 1982.(播磨蝶友会)
- Iratsume, No.6, July, 1982.(但馬むしの会)

(T.)

## 編 集 後 記

- 本年は空梅雨かと騒ぎ始めた所、こんどは大雨。梅雨明けが例年よりも1週間近くも遅くなると言う状況。梅雨明け後も天候不順で、夏らしくカラッとした日がほとんどないと言うありさまで昆虫に与えた影響も多かったと思いますが如何でしたでしょうか。
- 本号もお蔭さまで発行することが出来ました。地方同好会を継続して行くことは色々の意味で次第に難しくなりつゝあると思います。特に最近は身近の虫たちの調査、研究が等閑しされる傾向が現れておりまして、県外、海外の派手な報文が目立って来たように思います。本来の地方同好会誌の性格は守ってゆきたいものです。
- 次号 Vol. 11, No. 1 は 1983 年 5 月発行予定です。原稿手持ちはほとんどありません。長短に不拘ず御投稿下さい。原稿は 8 月末迄に原稿用紙で御願ひ致します。 (T.)

---

きべりはむし 第10巻第2号

昭和57年11月25日発行

発行：兵庫昆虫同好会

〒652 神戸市兵庫区氷室町1丁目44 高橋寿郎方

振替 神戸5-72052

印刷：憐文尚堂

〒652 神戸市兵庫区下沢通3丁目4-11

---